H30 年度帰国留学生・当館ネットワーキング強化会合

大使挨拶（ポルトガル語にて挨拶）

みなさん、こんばんは。

- 本日、日本政府の元留学生からなる ABRAEX のネットワーキングの会、そして、年末の親睦の会に参加して、大変嬉しく思っております。
- ABRAEX は、1996 年の創立以来、日本大使館及び JICA ブラジル事務所と協力し、各種セミナー、講演会、留学セミナー、日本文化の普及イベントなど様々な活動を通じて、元留学生・研修生のネットワークの形成・発展に尽力されてきました。
- 日本人伯移民 110 周年という記念すべき年にあたり、その活動を通じて、日伯の関係の促進に大きく貢献してこられた ABRAEX 及びすべての元留学生・研修生に対して、改めて深い感謝の意を表したいと思います。
- 安倍総理は、日本のラテンアメリカ外交の指針として、3つの「ジュントス」を表明しました。すなわち、「発展を共に」、「主導力を共に」、そして「啓発を共に」です。皆さんは日本での勉強や研修を経験し、日本人の学生や実務家と交流し、友情を深め、様々な分野で、日伯関係の強化に寄与していると思います。これこそ“ジュントス”の理想であります。

- 今後も A B R A E X の皆さんがますます日伯関係強化のために活躍することを期待します。大使館としてもそうした活動に支援を惜しみません。
- 今日ご出席の全ての皆さんが今晚のイベントを楽しみ、ネットワークを広げて頂くことを心から願っています。

ありがとうございました！